

# 郡上長良川ロータリークラブ

クラブテーマ **楽**

会長：小島正則 副会長：山下 誠 幹事：松森正和

例会日：毎週水曜日 18：30～

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191E-mail：gsroc@abelia.ocn.ne.jp 発行 クラブ会報委員会

## 第2090回 令和4年12月21日(水)

### 本日の行事 年次総会

2022-23年度

島崎秀樹直前会長

幹事報告

松森正和幹事

\* ガバナー事務所より

・国際大会登録の件と日本人朝食親睦会の件

\* ガバナーエレクト事務所より

・次年度会長・幹事・クラブ研修リーダー氏名

確認のお願い 締切1月16日

\* 地区事務所より

・11月会員増強状況報告書

・職業奉仕委員会 卓話講師決定のお知らせ

\* バギオ基金より 2021年事業報告書と基金への寄付のお願い

\* 米山奨学会よりハイライトよねやま 273号

\*\*\*\*\*

#### 第2089例会報告

#### クラブフォーラム(補助金事業について)

ロータリー財団委員長 島崎秀樹君

近年郡上市でも、避難の必要な災害が頻発しています。水害と、土砂災害については数年に一回の頻度で来ています。その中で、避難所の設営・運営は市役所に頼りっぱなしなのも事実ではないでしょうか。

皆さんの中には「避難所の設営と運営は自治会できちんと行っている」と言われるところもあるでしょう。しかしほとんどの方は避難所には訳が分からないまま行くのが実情ではないでしょうか。

「とにかく避難所に行けば何とかなる。」「避難さえすれば行政がなんとかしてくれる。」確かに初動は行政のほう早いでしょう。ちきんと災害マニュアルがあるのですから。

その避難が1日や2日で終わるものならば、行政だけで行うのが早いかもしれません。しかし、長期に亘る場合はどうでしょう、地域が広範囲にわたる場合は？行政だけでは無理が生じてきます。このため、避難所の運営は地元の住人が一体となって行うことが必要となってきます。

これらの避難所は行政の所有する施設であったり、学校の体育館であったりします。

災害から自分の命を守るため、家族の命を守るため、行動することが避難であり、いつ、如何なる時でも冷静に行動できるか、それは平時にどれだけ訓練をしているかにかかっていると思います。

そこで今回は「避難する」そして「避難所を運営する」に焦点を絞っていきます。

郡上市地域防災計画の中で市民の責務は「自らの生命は自ら守る」を防災の基本と考え、平常時から災害に対する備えを心がけ、地域の防災訓練には自発的に参加して自分の安全は守れるように行動しなければならない、となっています。

郡上特別支援学校は、初頭部と中部は大和に、高等部は八幡にその校舎を置き、2つの離れた校舎でそれぞれ防災訓練をしています。自らが災害弱者とならないよう、近年、防災講習や地元自治体と一緒にあった避難所運営訓練を行っています。

この避難訓練に用いる避難器具は振興事務所から借りてくるものが多く、災害発生時に現地で使うことが出来ないものが多数あり、防災や避難の授業用の副教材についても、またしかりであります。

当クラブでは、これらの問題を解決することは、防災意識の向上を願う地域の基本的教育と、減災効果による地域社会の発展に貢献できる奉仕プログラムであると考えます。

具体的な事業としては地元自治体、郡上市防災士会の協力を得て、先生と生徒と保護者を対象にした防災ゲームや避難所設営作業で、災害が発生したときどうすればいいかを学ぶ講習を行います。また、一般の人を

対象とした避難所の設営から運営についての講習会も行い、郡上市北部の高鷲、白鳥、大和の各振興事務所に避難所運営ゲームの寄贈と郡上市特別支援学校には段ボールベット、段ボールパーテーション各10組と、3つの振興事務所には避難所運営ゲームと減災トランプを各一組寄贈して、地域の防災講習会が楽しく講習できるようにしていくことを求めています。

**\* その為に行う事**

- ・メンバー自身が避難所設営は防災、減災について意義や魅力を理解する例会を開催し、郡上特別支援学校の校長や防災士会の会長による卓話を実施する。
- ・防災士会と特別支援学校、地元自治会に協力依頼とプロジェクトの内容を協議する。
- ・講習の規模や日時、場所、時間、参加人数を協議。
- ・特別支援学校で防災、減災についての講習を行う。
- ・白鳥ふれあい創造館において地域の避難所運営講習を行う。
- ・後日、特別支援学校及び振興事務所に避難用具一式の贈呈を行う。

**\* メンバー参加方法と具体的活動**

- ・避難所運営ゲームや減災トランプを実際に行う勉強会に参加。
- ・メンバーが手分けをして、振興事務所と特別支援学校を訪問して、プロジェクトの意義の説明を行う。
- ・講習当日の準備と会場設営。
- ・特別支援学校と振興事務所に避難所運営ゲーム等を持参して贈呈する。

**\* ローターリーであることの広報**

- ・講習会場にはロータリーの旗若しくは横断幕を掲げる。
- ・新聞に記事の掲載を依頼する。郡上ケーブルに取材と放映を依頼する。
- ・SNSに記事掲載を行う。

**\* 協力団体**

- ・郡上市防災士会

**ニコBOX**

ニコBOX委員会 杉山賢君

小島君 今年もあとわずかですね。本日も例会よろしくお祈いします。

松森君 今年も5回も山に登れました。冬山にもチャレンジしてみようかな。

寺田澄男君 庭の雪囲いを始めたら雪が待ち構えたように降り始めました。いよいよ冬将軍のお出ましです。

藤代君 初雪が降りました。車の運転に気を付けましょう。コロナの感染が広がっています。気を付けましょう。

美谷添生君 とうとう雪になりました。今シーズンは予告通り大雪かもしれませんね。来年はよい年でありますように。

和田良一君 雪が降りました。本格的な冬です。体に気を付けましょう。

畑中君 雪が来てクリスマスに向かう。

島崎君 雪です。寒さもひとしおです。

杉山君 和田一浩さんが、就任会見で「こうしなさい、とは言わないのが理想。導きたいと思います」やはり素晴らしい人です。来期のドラゴンズが楽しみです。

若尾君 いよいよ降ってきましたね。体に気を付けて2022年を駆け抜けましょう。

鷲見君 コロナ、まだまだなんですか？

同文 石徹白君、佐藤君

**次回行事予定**

- 12月28日 休会
- 1月 4日 休会
- 1月11日 新年互例会
- 1月18日 会員卓話（新年を迎えて）

**出席報告**

出席委員会 若尾隆司君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第2088回	32名	16名		15名	100%	1名
第2089回	32名	18名	12名	1名	61.29%	1名